

IGF 2023 に向けた国内 IGF 活動活発化チーム第 50 回会合 発言録

加藤 幹之： 定刻を過ぎていますが、集まりがまだ多くないようです。山崎さん、きょう前村さんとか総務省の方ご予定ではなかったでしょうか？

山崎 信： 前村を呼んでるんですが、まだ反応がないですね。総務省の方はデータ通信課の方が申し込んでおられて、あと飯田さんも「あまり長くはられないけれども参加は可能」とお返事をいただいているんですが、まだお入りになられてないですね。

加藤 幹之： ですから先に、始めましょうか？

山崎 信： NRI とか MAG とか、そのへんで始める手もありますけどね。

加藤 幹之： 前村さんもお出でにならないですけど。今、前村さんもちょうど入られますね。前村さんこんにちは。

前村 昌紀： すいません遅くなって。

加藤 幹之： とんでもないです。お集まり具合が悪かったのが、そろそろ始めようかと言っていた矢先ですので良かったです。ありがとうございます。それでは大きな節目になりましたけど、第 50 回の活発化チームの会合をスタートさせていただきたいと思います。飯田様は、少しは参加できるというご連絡はいただいているので、参加された時点で最近のアップデートいただくということで、MAG のアップデートということで、まず河内さんお願いできますでしょうか？

河内 淳子： 聞こえるでしょうか？

加藤 幹之： 聞こえております。

河内 淳子： MAG ですが、前回の活性化チームの会合以降、MAG のリモート会議はなくて、12 月の IGF のワークショップの提案の評価作業を 6 月 9 日まで各自で与えられたのが、大体 1 人 5、60 件ぐらいずつ作業して、それを提出したものを事務局が全部取りまとめて全部集計して、その集計結果が週末に来たところです。今 MAG のメンバー 40 人いるんで

すけど、40人で今年サブテーマが4つあるので、10人ずつ4つのグループに分けて、それぞれ担当のサブテーマの提案を評価したんですけど、今度同じサブテーマのグループ10人の中で、その結果をもとに、その結果でいいのかどうかという議論を今週中にリモート会議等でしてほしいと言われてます。来週の水木金が対面のジュネーブでの会議ですので、それまでにグループ内での議論の結果も事務局へ報告して、その結果を受けて対面のジュネーブでの会議で最終的に決定することになると思います。採択案件の件数ですけど、前回の会合の時にご報告したと思うんですが、トータルでワークショップだけで言うと、4つのテーマで200件ぐらいあったんですけど、結局その内90件採択ということで、テーマによって提案数の比率で分けるので、例えば1番多かったのは、インターネットガバナンス的なテーマで、それが24件です。イノベーションとセキュリティーはもうちょっと多くて26件だったかな。27件だか大体それぐらいずつで。あとの2つのテーマはもうちょっと少なく、20件程度ずつで、トータル90件のワークショップが最終的には選ばれることになっています。結果とかあるんですけど、まだ公表されてるものではないので、ここでは口頭で簡単なお報告というかたちにしたいと思います。

それでワークショップですけど、例えば Day 0 とか他のセッションについては事務局が別途評価をしているはずで、その結果は去年までの経験から言うと、ジュネーブでの会合でワークショップが最終的に決まりますけど、決まってすぐに、ジュネーブでの会合の翌週とかに、その結果がそれぞれの提案者に連絡されると思うんですけど、同じぐらいのタイミングでたぶんワークショップ以外のセッションの提案についても、結果が事務局から送られるのではないかと思っています。MAG はそんな感じですかね。それ以外の進捗は今のところないですけど、GDC の第1 修正案、ゼロドラフトの次が5月に出了たけど、その第2バージョン、第2 修正案が6月20日に出ると、最初そういう予定になってたんですけど、そのあとまた修正があって、間に合わないの今週いろんなコンサルテーションを行った結果で、今7月1日に第2 修正案が出るという予定になってると思います。そう聞いています。そんな感じですけど、あと何かありましたかね？

加藤 幹之： ありがとうございます。あとで NRI の件、山崎さん含めて言っていたかもしれませんが、今飯田様が入られたので、もし飯田様の時間が限られてることを予想して、とりあえず河内 淳子さんここでストップ、飯田 陽一さんのほうから先にご報告いただくこと

があればお願いしたいんですけどいかがでしょうか？河内さん申し訳ありません。またあとでカムバックしますので、ご質問等あれば河内さんをお願いいたしますけど。

飯田 陽一： すいません、お気遣いいただきて。

加藤 幹之： とんでもないです。

飯田 陽一： そんなにたくさんないんですけど、確かに今河内さんからお話があった通り、GDCのほうはリバイズを各国政府で検討してる状態です。オープンコンサルテーションがいつあるって話も出てくるんですけど、まだよく分からない中で、我々も今、中で検討してまして、たぶん今回の議論が終わったら、またドラフト第2版というかたちでオープンになるのかなと思っています。先週ジュネーブで国際電気通信連合(ITU)の理事会があって、その中でもGDCの話とかは出てるようなんですが、特に先週は理事会にグテーレス事務総長が来て、GDCの話も含めていろいろお話をしていたようで、グテーレス事務総長としてはAIのところはかなり強い思いがあって、今のドラフトでも結構、オフィスを作るとかパネルを作るとかいろいろ案が出てくるようですので、我々としても、あんまり過剰なものが出てくるんですけども、国連が国連らしい役割を果たせるようなものが残っていくのはやむを得ないってことはないんですけど、建設的な方向にもっていければなと思っています。我々、先週ブラジルのG20に出てたんですけども、G20の場でもGDCは話題にはなっていて、やっぱり先進国と途上国の方向がずれてきてるのが分かっています。どうしても途上国への支援っていうところを強調したがる途上国と、先進国側ではあんまりそういうことばかり期待されるというよりは、もうちょっとグローバルな取り組みということで、許容できる範囲の落としどころを探っていこうという感じなので、今後たぶんG77、途上国+Chinaというグループからもいろいろ出てきてるようですので、よく国連にありがちなフレンズグループと、G77+Chinaの対決みたいな構図にどうしてもなりがちなのかなと思う中で、なるべく生産的な議論で、未来サミットまでにGDCの成果がちゃんと出来てくればいいなと。

それで、我々元々の思いとしては、その次のWSIS+20の見直しのところにちゃんと前向きに結びついていくということなので、そういう意味ではIGFとかインターネットガバナンスのところはマルチステークホルダーでっていうことで、かなり時代も良くなってると思いますので、あまり油断せずにはっきりIGFがより良いかたちで残っていくような基礎を、この

GDC のところで残していければと思っています。ということで、なんとなく議論すると、どうしてもみんな AI の話になるので、これがどう今後に向けて残っていくかは、どうしても注目点だと思っていますので、引き続きフォローしていきたいと思っています。簡単ですけど以上でございます。

加藤 幹之： ありがとうございます。今の飯田様のご報告にご質問等ございませんでしょうか？山崎さんお願いします。

山崎 信： 山崎です。来月国連の、ちょっと名前が思い出せないんですけど、7月8日からなんとかサミット¹があるので、それまでに GDC を固めたいということが、GDC の共同進行役からレターが出ていたようです。

飯田 陽一： 言っていましたね。

山崎 信： そうすると、より議論が加速しちゃうのかなと心配してるんですけど。要は、民間から意見を言う機会も少なくなるというか、今月が下手したら最後になるのかなという心配をしてるんですが、そのへん政府同士のお話ではどんな感じか、もし差し支えなければ共有をお願いできればと思います。

飯田 陽一： そういえばそういう話がありました。7月初旬に固めたいみたいな。でもどう考えても不可能なので、我々もあり得ないだろうと思っています。ハイレベルなんとなかって確かに、はっきり覚えてないんですけど、そういうのがあってそこまでにというお話が1度出ていましたけども、現状そうは動いてはいませんので、逆に言うとスケジュール感が全然見えてこなくて、通常国際的な議論だと7月後半から8月は止まっちゃうとは思ってたんですけど、どうなっちゃうのかなと若干心配してますし、そこ止まっちゃうと9月になってからがとんでもないことになって、他のトラックもいろいろある中で思いやられるなど思っているところなんですけど、少なくとも7月上旬に議論が妥結するというのは誰も思っていないと思います。

¹ 正しくは High-Level Political Forum on Sustainable Development（持続可能な開発目標に関するハイレベル政治フォーラム）です。 <https://hlpf.un.org/>

加藤 幹之： 他ご質問いかがでしょうか？ 特にございませんか？ もしなければ飯田様にはお出でになる限り、あとで思い付いた質問があれば伺うとして、飯田様、付け加えることは特に今よろしいですね？

飯田 陽一： 当面大丈夫です。

加藤 幹之： ありがとうございます。

飯田 陽一： いる限りはお聞きしてますし、もし何かあればメールいただくとかでも結構ですので、またよろしく願いいたします。

加藤 幹之： ありがとうございます。河内さんさっき途中だったかもしれませんが、河内さんからは追加とかございますか？

河内 淳子： いえ、MAG についてはとりあえず先ほどご報告した状況です。一応 MAG の中にストラテジーワーキンググループと言って、MAG とか IGF が今後どうなるべきみたいなことを議論するワーキンググループがあって、その中では結構 GDC のドラフトに対して意見書を出したりとかしてしますので、そちらでセカンドリビジョンに対する意見交換とかがあれば、またご報告させていただければと思っています。

加藤 幹之： 分かりました。ありがとうございます。河内さんへのご質問、みなさんいかがでしょうか？ ごめんなさい。今の JPNIC さんからのコメントって、これ山崎さんからですか？ チャットのほうに書いていただいたのは。

山崎 信： そうです。

加藤 幹之： どういうご主旨か。

山崎 信： 先ほどの質問を補強するというか、こういうのが出回ってますというだけです。

加藤 幹之： 承知しました。いかがでしょうか？ みなさん、この件は MAG、それから日本政府からのご報告、これでよろしいですか？ とりあえず次の項目に移りたいと思います。次は NRI ですかね。もう少し山崎さん下のほうに。そうですね。NRI ですね、次。山崎さん

から 5 月 21 日の報告いただいて、実は次回今週の水曜日にある予定だと思いますけど、その後大きな動きは特にないということでしょうか？山崎さん。

山崎 信： 前回は、前回の活発化チームと同じ日で。

加藤 幹之： その夜だったんですね。

山崎 信： 5 月の NRI の会議の報告をさせていただきます。前回は、毎回ぴったり 1 時間で終わるんですけども、47 名参加で河内さんと私が参加したと記録には残っております。議案はここに書いてある通り、まず NETmundial+10 の報告がブラジルの NRI 関係者からあり、そのあと NRI のメインセッション、NRI 調整って書いてありますが、コーディネーションセッションの報告だけじゃなくて議論がなされました。アクションアイテムとしてはこうなってますけども、NETmundial+10 以外は、メインセッションとコーディネーションセッションの 2 つについての議論ということです。要点のまとめってということですけども、ブラジル IGF のコーディネーターの人が NETmundial+10 の成果について、参加者に報告しました。これは、活発化チームでも前回やってますので、あまり詳しいことは触れませんが、結構みなさんオープンな支持をしたということになります。で、今年の IGF 2024 で開催される NRI のメインセッションですけども、こちらはいつも通り 90 分ということで、国連公用語全部に同時通訳されるということで、主にポリシークエストについてアイデアを求めたということで、NETmundial+10 が 2 つも入っている。で、グッドプラクティス、デジタル公共政策の推進、多国間プロセスと相互作用、インターネットガバナンスとマルチステークホルダーモデルの進化などが共有されております。これらの意見は集約されて共有文書に追加されて、今週の次回会合で検討されるということになっております。コーディネーションセッションのほうでは、前の 2 つの議題が結構時間を食ったので、これは 6 月回しという感じになってますけど、事務局がメーリングリストにはアクションポイントを送ったと。

そして、この次の会合というのはいまもう決まっています、今週 19 日水曜日に開催予定です。これが現時点の案ですけど、詳細は省略します。これが先月の NRI ミーティングの報告です。もう 1 点が、きょう 1 時間ぐらい前から EuroDIG、欧州の地域 IGF が始まっておりまして、さわりだけ聞いてたら 1 番最初が NRI としての総会みたいな会合をやってまして、そこで、「今まで国別の IGF がなかったチェコに国別 IGF が設立されました」という報告がされまし

たので、それについてお知らせしたいと思いました。わたしからはそんなところですけど、ご質問等あればお願いします。

加藤 幹之： ありがとうございます。ご質問ないですか？ 河内 淳子さんからもし追加事項等があれば。いかがでしょうか？

河内 淳子： いえ、特にはないです。大丈夫です。

加藤 幹之： 僕、申し訳ないですが山崎さん、前回出席できなかつたんですが、これで3つのコラボレーションセッションとメインセッションの枠組みは全部決まったということですね？

山崎 信： ただコーディネーションセッションのほうは今回回しになってるので、まだ全部かっちり決まったわけではないと認識しています。

加藤 幹之： 一応3つのセッションについて、モデレーターとか募集はまだ続いていると見ればいいんですか？

山崎 信： そういうことだと思いますが。

加藤 幹之： 分かりました。もうだいぶ前にすでに手挙げてる人もいたので。まだ一応オープンだということですね？

山崎 信： そういうことだと思います。

加藤 幹之： 分かりました。あと、もうメインセッションのポリシークエストを議論するということですね？

山崎 信： それも、ひと月出た意見が集約されて、

加藤 幹之： もう1度議論すると？

山崎 信： もう1度議論するということです。

加藤 幹之： 分かりました。ありがとうございます。質問等ございますか？ いいですか？ それではアジェンダに沿っていきますと、NRI のあと、これ以外の会議について何かご報告いただくことがあるかということですが、これいかがですか？ 先日 WSIS+20 の会議とかのお話も出ましたし、それ以外に何かご披露いただくようなことはございますか？

山崎 信： WSIS+20 は遠隔で見てたんですけども、日本政府の方がコメントなさってたので、総務省の方が出られてたんじゃないかと思いますが、飯田さんもし、共有いただけそうなことがございましたら。WSIS+20 フォーラム、5月末ですかね？

加藤 幹之： そうですね。

飯田 陽一： そこは吉田（総務審議官）が出てたんじゃないかと思うんですが、詳細なことは聞いてないんですけども、基本的に同じラインで対応しているはずだと思うんですけど、厳密に聞いてなかったもので申し訳ないです。

もし具体的に何か確認しといたほうがいいことがあれば、教えていただければ本人になり担当者に確認しておきます。

山崎 信： 具体的なものというのは、わたし持ち合わせてないんですけど、日本政府として力を入れたポイントとか、もしあればと思った次第ですけど。

飯田 陽一： WSIS+20 に向けては、みなさんの議論していただいているように、今のマルチステークホルダーによるインターネットガバナンスというのが、ちゃんと維持されて強化するような方向での議論が望ましいということで。あとは今ある取り組みと重複しないように、新たに何かを議論するのであれば、今あるものを尊重して、それに積み重ねていくべきだという、基本的にはそういう方向で対応してますので、ITU のコンテキストで何か付け加わったことがあるかもしれませんが、たぶん ITU 的にはコネクティビティのところはかなり実績があるので、そこは今までの取り組みを尊重すべきということは常に発信をしていて、さっきお話した通り、グテーレス（国連事務総長）が（ITU 理事会に）来た時にも GDC の中でもコネクティビティのところについては、ITU が非常に今までいろんなことをやってきていて、これは賞賛に値する。これを尊重してやっていくというようなことは、グテーレ

ス事務総長からもあったということで、ITU 側はだいぶほっとしていると聞いてますので、そのラインで我々のほうからも発言してるかなと思います。

山崎 信： ありがとうございます。

加藤 幹之： ありがとうございます。河内さんから何かこの点追加とかないですか。実際 WSIS+20 フォーラムの一部に参加されてたように記憶してるんですが、何か付け加えることとかありますか？

河内 淳子： IGF の事務局が主催してたセッションが 2 つあって、1 つは 28 日にあったんですけど、もう 1 つ翌々日にあったやつもちょっと聞いたんですけど、とにかく IGF とか MAG とか、IGF 自体を知らない人達に、IGF ってどんなものなのか、どんなことやってんのかっていうのを紹介するようなセッションで、司会者が会場にいる参加者に、「IGF に今まで出たことない人」っていうのに手を挙げてもらって、その人達に「今度サウジアラビアで 12 月にこういう会議があるけれども何か質問はあるか？」って聞いたところ、特に「若い人にも来てほしい」ということを言った時に、サウジアラビアのアコモデーションが高いんじゃないかとか、そこにサポートがあるのかどうかとか、ビザの問題があるんじゃないかとか、そういうことを結構聞いていて、割と IGF を知らない人に向けて、是非知ってほしいっていうようなことを目的としたセッション。2 つ目はそういうセッションでした。

加藤 幹之： ありがとうございます。WSIS+20 について、ご質問、何かさらに情報をお持ちの方ございますか？今のところそれぐらいですかね。またこのような会議が今後開かれるんでしょうか。基本的には年に 1 回はこういうセッションがあるということですよ？このまま来年になってしまうんですかね、WSIS+20 は。どなたかそのへんの手順って言いますか、ご存知の方いらっしゃれば。

山崎 信： 山崎ですけども、IGF のサイトにロードマップがあったんですが、今すぐ思い出せないですけども。そんなにのんびり空いてるわけではなくて、IGF もそのプロセスに組み込まれてるので、サウジアラビアでの IGF もその一部分となると思いますけども。順番にいくつもあるということだったように記憶してます。

加藤 幹之： 分かりました。ありがとうございます。それを見て、また情報共有できるところはするということ。

山崎 信： それを掘り出したらみなさんに共有して。

加藤 幹之： そうですね。

山崎 信： あと、先週の ICANN 会議でも、インターネットガバナンス関係のセッションがいくつかあったと思うんですけども、それ参加した方無茶ぶりかもしれませんが、もし共有いただけそうなことがあったらお願いできればと思うんですけども。

前村 昌紀： それはわたしじゃないんですか？

加藤 幹之： 前村さんお願いします。

前村 昌紀： 喜んで共有します。まず、先週の ICANN ですけども 3 つぐらいご紹介するといいいことがあると思います。1 つは、新しい CEO が決まりました。ヨラン・マービーのあと、サリー・コスタートンが暫定 CEO をやっていたんですけども新 CEO の探索が終わりまして、月曜日のカクテルの時間にトリプティ・シンハー（理事長）からアナウンスメントをして、そのタイミングで Web にも同期してアナウンスメントがされました。12 月に着任することになってるんですけども、今は LINX (London Internet Exchange) の社長をやっている Kurtis (Lindqvist) という人です。LINX の前には Netnod っていうスウェーデンの会社にいました。本人はフィンランド人らしいんですけど。Kurtis Lindqvist に決まりまして、旧知の、わたしは友人なんですけど、テクニカルコミュニティの出身の社長というのは、なかなか今までいなかったんです。ICANN の CEO には。山崎さん、ちゃんと名字もきちんと綴っていただけてますけど、これを僕は読んだことがないんですけども。それがまず ICANN の CEO が決まったという話です。もう 1 つは、同じく 1 日目の午後なんですけど、マルチステークホルダーモデル云々というふうな、正確には ICANN のマנדート内ではないんですけども、マルチステークホルダーモデルについて考えるみたいな、パネルディスカッションのかたちでやっていて、ジョーダン・カーター (auDA) が前に出てきてやってたやつなんですけども、これが結構良く出来てまして、なかなか ICANN ぐらいなんでしょうね。馴染んで、こういうことが出来るようになってるマルチステークホルダーのふるさとみたいなところなんです。

ICANNというのは。ディスカッションするから、ここまで政府、例えばパプアニューギニアのウルバさんという大臣は、「マルチステークホルダーのアプローチもいいけども、やはりITU にいくと一国一票というのはかなりモードが違ってね」というふうな、マルチステークホルダーを標榜することの良さと複雑な心境みたいなものを切り出してくれたり、とてもいろんな方々の意見がすごくよく聞かれたセッションだったので、今からでもレコーディング聞いてみると、いろいろ思うところがあるんじゃないのかなと思います。それが2つ目。3つ目はガバメントエンゲージメントチームというところが、Legislative Regulation Update みたいなものを毎回やるということになってまして、こちらもおすすめです。ICANNのガバメントエンゲージメントというチームは、5人ぐらい全世界にいて、その人達が各国の法制やジオポリティカルな状況をアップデートしてくれるんです。これがインターネットに関する政策的なもののウォッチをするんだったら、ここトラックしとけばいいんじゃないかっていうぐらいよく出来てまして、そちらのほうは、きょうもいろいろとご報告があったようなことのアップデートということで。特別に何か新しいことがあったということではないんですけど、そちらのほうもご参考になられると良いのかもしれないと思います。以上です。

加藤 幹之： ありがとうございます。結構 ICANN で大きな動きがあるのと、ICANN 自身がマルチステークホルダーのモデルを議論するっていうのは、やっぱり何か背景かなんかあるんでしょうか？

前村 昌紀： 背景があるとすれば、例えばそこでもジョーダン・カーターが、ジョーダン・カーターっていうのは auDA、.au の、本人はニュージーランド人なんですけども、ポリシーインターネットガバナンスディレクターというのをやってる人で、この人が auDA、.au はとても熱心で、積極的に活動を展開してまして、最近 JPNIC からアナウンスしましたけども、TCCM とって、Technical Community Coalition for Multistakeholderism という、WSIS+20 や GDC に対して、きちんと技術コミュニティからボールを打ち返していこうということをやっているようなところがあって、つまりそういうふうなところに、今の政府間組織における動きというものに懸念が一定あるということが背景になるんだと思います。

加藤 幹之： ありがとうございます。みなさんいかがでしょうか？ご質問等ございますか？私からもう1つ、その3つ目のガバメントエンゲージメントチームの作業というのは、各国

がインターネット関係でこういう立法をしているっていうのを、ずっとサイトで情報発信してるといことですね？

前村 昌紀： そういうことです。GE の定期的にレポートもドキュメントで出てきますんで、そちらもすごくまとまって読みやすいです。

加藤 幹之： ありがとうございます。1 度そういうのきちっと分析してみるっていうの、非常に面白いかもしれないですね。そういうベースを。山崎さんありがとうございます。他ご質問いかがでしょうか？みなさん大丈夫ですか？WSIS+20、ICANN 以外に何か最近の動きでご報告いただくなり、情報共有いただくこと他にございますか？

また前村さんに振ってあれですが、NETmundial+10 のその後っていうのは、フォローアップは今んところないんですね？

前村 昌紀： 今のところはないです。ICANN の時にも CGI.br の人達には会いまして、まずは JPNIC からステートメントの和訳を最近出しましたけども、すごく喜んでくれて、それ以外には.asia が中国語訳、CGI.br 自身がポルトガル語訳を作ろうとしているようなんですけども、そういうのも集積されていくようです。それで CGI.br の担当者曰く、「いろんなところでいい感じで参照されていて有難いよ」みたいなこと言っていたので、それなりに 10 年前、2014 年の NETmundial のものと同じような、好ましいリアクションがあるような感じに見えています。いい感じだと思います。

加藤 幹之： ありがとうございます。それは NETmundial のサイトなりが継続的にオープンになって、みんな見れるというかたちで継続するわけですね？

前村 昌紀： そうですね。いい感じで参照されていくというか。

加藤 幹之： ありがとうございます。いかがでしょうか？皆さん、他に情報共有いただくこと、ご質問ありますでしょうか？特にないでしょうか？

状況報告の延長で、次のアジェンダアイテムとして、本チームの今後ですけど、これも活発化チームの法人化の準備委員会の会合のご報告を、まずわたしからさせていただきますけど、前村さんよろしいですか？簡単に。

前村 昌紀：　　お願いします。

加藤 幹之：　　議論は継続しておりまして、前回ご報告した通り 6 月 6 日に第 3 回の準備委員会をやったんですけど、そのあと第 14 回目が今決まってるのが、今週の金曜日 21 日の予定です。前回までの議論の中で、総務省さんのほうから元々活発化チームのほうで作っていた定款の案と、JPNIC さんが出された修正案、それらを取り込むかたちで定款の案を作っていただけで、その議論があったということですが。前回の会議では、その総務省さんの案に対するコメントを出された方々からの議論と、さらにその議論は時間がなくて出来なかったんですけど、JPNIC さんから、法人化した場合に一般の社団法人ですから、その社団法人のメンバー、法律用語では社員と言いますが、社員になるための条件として、募集要項の案を作られまして、それが 1 つ、今俎上にあがっています。もう 1 つは社員総会と言いますが、社員を継続して毎年会費を払うということ、JPNIC さんの案の中でも規定されているんですけど、それについての会費の案というのが出てまして、今週金曜日の次回の会合では、この JPNIC さんの社員募集の要綱、さらには会費に関する内容についての議論、それから先ほどの総務省様からの定款案についての継続の議論をやる予定です。ということで、まだ完全には収束していないので経過報告だけで恐縮ですけど、今の状況はこういう内容です。前回申し上げた通り、詳しい内容についてはかなりいろんな書類のやり取りがあるので、この場でそれを細かく報告するのはなかなか難しいので、是非ご興味のある方はこの議論に継続して参加していただければと思います。前村 昌紀さん、他の方で、追加補足いただくことありますでしょうか？　高松さんが手を挙げていただいています。高松さんよろしくをお願いします。

高松 百合：　　補足というよりか、次回の準備委員会の日程が、金曜日ではなくて今週の木曜日かなと。

加藤 幹之：　　20 日の木曜日の夜 7 時からですね。失礼しました。

高松 百合：　　以上です。

加藤 幹之：　　申し訳ありません。他ありますでしょうか？訂正も含めてよろしくをお願いします。前村さんからよろしいですか？

前村 昌紀： 補足というか、議論をしていくと、会合に参加する人達っていうのと、そういう人達の中で、今の活発化チームのように決めごとを決めるということに参画したいという人っていうのを、ちゃんと分けなきゃいけないよねとか、そういうふうな割と定款上の条項というよりも、本質的な議論に入っているんで、これはこれで必要な議論だったんだろうなと思いますというのが、わたしから補足というか感想です。以上です。

加藤 幹之： ありがとうございます。みなさま感想も含めて何かございますか？よろしいですか？

もしなければ、この件はまた改めてさっき申し上げたように、今週木曜日です。失礼しました。というように準備会合が続きますので、そのご報告をさせていただきたいと思います。ということで、一応きょうのアジェンダはほぼカバーしたと思いますが、何かの追加で情報シェアいただくとかございますでしょうか？まだ飯田様お名前拝見しておりますが、追加とかございますか？特にございませんか？

飯田 陽一： こちらからは特にこれ以上はございません。

加藤 幹之： いつも無茶ぶりばかりで申し訳ありません。

飯田 陽一： とんでもないです。

加藤 幹之： どなたか大丈夫ですか？

それでは次回の会合ですけど、7月8日が3週間後、7月15日が4週間後ということですが、7月15日って海の日かなんかのお休みですよ。ということで、みなさんいかがですか？

候補としては7月8日月曜日、または15日海の日ということで、おそらく16日火曜日にしたほうがいいのかという気はするのですが、候補としてその2つの内こちらは何かで都合が悪いとか何かそういう情報ございますか？候補として7月8日月曜日、または16日火曜日ですけどいかがでしょうか？こちらは非常に悪いとか、前のように ICANN にぶつかるとか、そんなことは特にないですか？

もしなければ、私は特にどちらの日程もないんですが、その間に何か動きがあるとしたら、1つはジュネーブのMAGですね。6月末にあるということで、その情報をご報告いただくということであれば、1つの案は7月8日月曜日にやっていただくということですが、みなさんいかがでしょうか？

7月8日月曜日でよろしいですか？特にご都合悪い方も含めて、そうでなければ次回は7月8日。このところ4週間後ということが多かったんですが、3週間後ということになりますが、よろしいでしょうか？

その時はジュネーブでのご報告もいろいろお願いしたいと思っています。ということで、きょうもありがとうございます。いろいろな情報共有ができたと思います。では次回、7月8日月曜日に、また同じ夕方5時からということで、よろしくお願いしたいと思っています。本日もありがとうございます。